

2009年度

科目名	日英語比較1				
担当教員	溝口 健司				
配当	英語2			コード	12370
開期	前期	講時	月曜日2限	単位数	2
授業テーマ	日本語と英語の諸相を比較することによって、それぞれの言語と文化の特質を探る。				
目的と概要	人間という同じ動物種の産物である以上、日本語と英語は言語の本質部分を共有している。しかしまた、日本語も英語も、それぞれが固有の地域で固有の文化・歴史を基盤として成立しているために、非本質部分で固有の性格をもつことも事実である。両言語の相違は、言語類型、語彙、語順、文構造、音韻体系、文字体系、情報構造、時間表現、場所表現、翻訳可能性、表現性、発想、論理性などの個々の領域において、またいくつかの領域をクロスした形で現れる。日本語と英語がなにを共有し、どの部分がどのように異なり、そしてそれはなぜなのかを考える。				
成績評価法	質疑応答における発言の質・量、および不定期試験によって評価する。				
テキスト	英語の論理・日本語の論理/安藤貞雄/大修館書店				
参考書	大修館英語学事典/松浪有ほか(編)/大修館書店 日本語百科大事典/金田一春彦ほか(編)/大修館書店				
履修に当たっての注意・助言					
講義計画					
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 個の論理と集団の論理(1) 3. 個の論理と集団の論理(2) 4. 個の論理と集団の論理(3) 5. 表現構造の比較(1) 6. 表現構造の比較(2) 7. 日本語の特質(1) 8. 日本語の特質(2) 9. 語彙の比較(1) 10. 語彙の比較(2) 11. 語順の比較 12. 文構造の比較(1) 13. 文構造の比較(2) 14. 文構造の比較(3) 15. 総括 					